

復讐は、ビシソワズ。

(五年目以降～  
未完の巻)

～ 退職強要の記録 ～

労基署提出用資料

霧樹 里守  
(きりぎ・りす)  
キアリ)

畑楽 稀有  
as (ハタラ苦

「 四年目 」の続きです。 (仮)

---

復讐は、ビシソワズ。  
(四年目)

<http://p.booklog.jp>

からの、  
続きです。

(第一部・ 生データ)  
(2017年12月～ 未完)

(第二部・記憶スケッチw)

(第三部・...実録!?  
「小説」風味...??)

「総括」 (まだ終わっていない段階での、「書き出し草案」)。(2017年11月2日)

<http://85358.diarynote.jp/201711022026391435/>

「総括」 (まだ終わっていない段階での、「書き出し草案」)

o—

2017年11月2日 [就職・転職 コメント \(1\)](#)

(承前)

まずこれね。(^^;)

<http://85358.diarynote.jp/201711011803052401/>



めも。(17:59)

2017年11月1日 リステラス星圏史略 (創作) コメント (6)

「この起こりは30年前、そこそこ名前は知られているが通勤ラッシュ時の乗降客数はそこそこでしかない山手線の西南側の某駅から徒歩なら15分ほどの、周囲は下町の古い家並が残るなか、バブルの地上げの産物とはっきり分るそこだけ超高層なハイテクの、隣接する某庭園を見下ろすビルから始まった。」

「総括」 (まだ終わっていない段階での書き出し草案)。

曲はこれなんかどうかな...

<https://www.youtube.com/watch?v=KQKapIRYRFM>

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 作品95 《新世界より》

カラヤン / ベルリン・フィル 1964

=====

この起こりは30年前、そこそこ名前は知られているが通勤ラッシュ時の乗降客数は当時まだまだまばらと言う以上にむしろわびしい風情を漂わせていた山手線の西南側の某駅から、徒歩なら緩い下り坂の商店街と飲み屋街を下って15分ほどの、周囲は下町の古い家並が残るなか、バブルの地上げの産物とはっきり分るそこだけ超高層なハイテクの、隣接する某庭園の緑を見下ろす美しい社屋から始まった。

初めに私とそのビルに派遣されたのは遥か上の階の「儲かる最先端部門」色々ごたまぜフロア一の、しかしよりによって...!

「六ヶ所村はリサイクルだから地球に優しい」推進部門。であった....

! (--;) !

そこに勤務したわずかな時日のあいだに見分した事象の詳細は割愛する。(...時効だろ?とは思うが一応守秘義務もあることだし)

が、時はまさにチェルノブイリ原発事故の翌年だったかその次だったか。

すでに私は敬愛する同人仲間?にして往時のペンネーム「猫の舌」氏こと現在「伊藤有壱」氏と

して世界的に活躍する有名人?となった実姉の同級生が描くところの反原発漫画(※)にドカン!  
!とアタマを殴られて、

「これからは生き方を変えよう!エコでオルタナティブな反戦・反原発ライフを送ろう!」

...という、決意を固めつつあるところだった。というのに...★(ー;)★

(  
※

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%9C%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%B9>

#### コミックボックス

1980年代後半、編集長の才谷遼の方針から、原子力発電所の建設や運用に反対する姿勢を誌面に明確に打ち出した。1988年8月号は『まんが・危険な話』(タイトルは広瀬隆の著書から)と題して反原発特集号の様相を呈し、

まあ啜うに笑えないが嘲っておくしかないエピソード群を幾つか実体験した後、

これはもう、まちがいなく、

「こんな連中が推進しているなら、原発は危な過ぎる。」という結論に達し...

超・大企業の原発推進部門のド真ん中で、「私は反原発なので、これ以上この内容のお仕事はお請け致しかねます」と堂々「契約更新お断り」して、凱旋王のように胸を張って堂々退職したことを覚えている。

(当時「派遣の賓客」として「ワープロ入力が早くて正確」なことでは定評があり、業界内では引く手あまたで「仕事なんか幾らでもあるさ!」...と、バブル崩壊の寸前、まだ思っていたからこそその、芸当ではあった...。)

...で。

2階の社員食堂の美味しい肉まんが当時1個90円で。お茶は飲み放題のタダだったので、彩りの美しい隣接する某牙城苑(仮名)の庭を見下ろしながら優雅な気分で、肉まん2ヶ180円で昼食予算が収まるお気に入りの派遣先との関係は、それで終わった。と思っていたのだが...

そのすぐ後に、同じビル内のたしか1階入り口わき、当時はまだ予備の会議室スペースを間借りしたような仮設スペースで、もうあと1~2ヶ月で会社設立の運びとなる予定のバタバタした新設部署へと、「偶然」派遣される運びとなった。

何を隠そう、その30年前の立ち上げ当時、基本の電話対応マニュアルとか帳票入力画面の色指定(眼に優しい緑色にして!)だとか、電話対応しながらの入力順序の使い勝手だとか...を、ただの「ワープロ入力」派遣の職分をはるかに超えてあれこれ進言だの改良だのしまくった挙句に、2ヶ月かそこらで

「おカネが貯まったので、また北海道で遊んで来ま〜す!」...と、一陣の風のような勢いで颯爽と辞めた...

そしてその後30年の月日が流れ。

「あんなズサンな脳ミソの連中が保守管理をしているなら、原発は危険すぎる！」と訴え続けた原発が、事実、「3.11」し…。

必死の避難移住の挙句、忘れかけていた「いつか北海道に引っ越す！」の「夢」が、何故か？実現してしまい…。

…w (^□^ ; ) w…★

…その30年前の設立準備に立ち会った会社の北海道支店が、何故か？

今回のパワハラ事件の、舞台なのであった…。

…w (ーー ; ) w…。

(そしてどうやら事件の総括責任者氏とは、30年前に名刺をもらって何度か会話をしたことがある仲…??)

不思議な因縁も、有ったもんである…。

(続く)。

<https://www.youtube.com/watch?v=kpmn3WoZtKM>

映画『六ヶ所村ラブソディー』予告編

コメント



[霧木里守≡畑楽希有 \(はたら向きあり\)](#)

2017年11月2日20:46

あ〜 (〜〜 ; ) …★

そおいえば、「反戦デモ」に参加して、機動隊に踏み殺されそうになって、

「この国は、危ない！」と「気がついた」のも、30年前。だったかな…？

参照⇒『正しい戦争』石坂啓

そんで、PBコリアに乗ったり、アイヌモシリー万年祭(第一回)に参加したりして、「自分探し」の旅をしたさ〜☆



[霧木里守≡畑楽希有（はたらけきあり）](#)

2017年11月2日20:59

あ、で、その往時、

私が使っていた「8インチフロッピーディスク」に、

「MARs an's」って、名前書いてたんだよ。

そしたら何故か？（^^;）いつの間にか、それが「システムの名前」に採用されてた...www  
w

んで。（^^;）

今月2017年11月をもって、そのシステムは、「運用廃止」と、なるのでありました...

（だから、どうせ「その前に辞めよう」とは、思っていたのに...！

（転職活動を始める一瞬前に、干された！wwwww）

(借景資料集)

(閉店準備作業のための予備ファイル) 10

---

(閉店準備作業のための予備ファイル) 10

復讐は、ビシソワズ。

(五年目～未完)

<http://p.booklog.jp/book/127520>

著者：霧樹 里守 (きりぎ・りす)

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/masatotoki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/127520>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト